



Vol.14

2026年9月5日発行

国分寺市立 いずみホール インフォメーション

A ホール

オジゾー O'Jizo インタビュー

9月19日にいずみホールにご登場いただくO'Jizo (オジゾー) 公演を前に、アイリッシュ・フルート&ホイッスル担当の豊田耕三さんにお話をうかがいました。



——ホームページや会館のモニターなどでもご紹介している音楽を最初はさわやかな朝をスタートさせるのに良いなと感じました。豊田さんがアイリッシュ音楽と出会ったきっかけについて教えてください。

直接のきっかけは地元のCD屋さんで、アイルランド北西部の街スライゴのバンド、Dervish (ダーヴィッシュ) のアルバム「Live in Palma」の録音を試聴したことでした。元々ブルーグラスやカントリー、オールドタイムといったアメリカの古い音楽を好んで聴いていた自分にとって、この似て非なる音楽の発見は衝撃的でした。明るい曲ばかりで構成されるアメリカの音楽と違って暗い雰囲気のある曲もある上に、ティン・ホイッスルやアイリッシュ・フルートといったアメリカの古い音楽にはない管楽器の存在があったからです。それまでクラシック音楽でトランペットを吹いていた自分には管楽器の音色はひととき魅力的でした。

また、クラシック音楽などと違って、親子や兄弟、夫婦など家族でのユニットが多数存在することも驚きでした。こうでなければいけないという決まりが強過ぎないため、喧嘩になりづらいのだと思います。お酒を飲みながらテーブルを囲んで自分達が楽しむために演奏するセッションという独特の形が文化の中心にあり、日常生活に密着した伝統音楽の形は、大学で民族音楽学を専攻し、世界中の様々な音楽をトライしてきた自分にとって新鮮で刺激的でした。

——アイリッシュ・フルート、ホイッスル、そして中村さんの使用されるブズーキなど、あまり馴染みのない楽器が紹介されています。これらの楽器について簡単にご紹介く

ださいですか？

アイリッシュ・フルートは元々ヨーロッパ中に普及していたキーの無い木製のフルートの末裔(まつえい)です。モーツァルトやベートーヴェンの時代にはこのような楽器が使われていましたが、その後今日皆さんが一般的に目にするような新しいシステムのキーのフルートが発明されて、音量も大きく、音程も正確、指も楽と非常に優れていたため、若手から徐々にこの新しいシステムのフルートに乗り換えていきます。そして、使われなくなったシンプルシステムのフルートがアイルランドでも北西部の人々の手に渡って伝統音楽で使われ始めたのが起源のようです。ティン・ホイッスルはブリキを巻いただけの安価な笛ですが、6穴のシンプルな形の笛は世界中にあるようです。映画『Titanic』のシリーズ・ディオンが歌うテーマで役その音色が知られるようになりましたが、アイルランドの小学校ではリコーダーの代わりに使われ、伝統音楽にトライする人はまずこの楽器からというコースが一般的です。ブズーキはマンドリンの仲間、元々ギリシャの楽器でしたが、1960年代後半にアイルランドに持ち込まれ、ラウンドバックがフラットバックになり、弦が6から8弦になるなど、アイリッシュ仕様化され、今日では伴奏も旋律もできる人気楽器の一つになっています。



(上からアイリッシュ・フルート、ティン・ホイッスル、ブズーキ)

——9月19日の公演に向けて新しい作品を作成しているそうですが、どんな公演になりそうでしょうか？

9月19日に5枚目のアルバム「Wa」をリリース予定で、アメリカ・カナダのフェスでは既に先行発売され、持っていた分全てが完売になるなど好評を博しています。9人の海外のゲストミュージシャンを迎え、これまで関わりのあったミュージシャンの作った曲を積極的に取り入れています。タイトルの「Wa」は「日本」、「平和」、「輪」、「Wonderful Artists」、驚きの感嘆詞などを意味する多義語、これまでに築いた縁を最大限に活かすコンセプトでつくられています。今回の公演でもそのうちのいくつかを演奏する予定です。

O'Jizo ~アイリッシュの風~

9月19日(土) 開場 14:00
開演 14:30

全席指定 一般 2,500円 中学生以下 1,000円 好評発売中

※3歳以上有料。3歳未満は大人1名につき、1名まで膝上入場無料。座席が必要な場合は有料。

A ホール

ジャンルを超えて奏でられる楽器の可能性にチャレンジ イメージがガラリと変わる体験をいずみホールで

尺八という楽器を現代音楽に取り入れ、楽器の魅力を引き出し、新しい表現とその可能性を引き出している藤原道山。今回はピアニストで作曲家の加羽沢美濃を招いて、加羽沢作曲のオリジナル曲から、チック・コリアの名曲スペイン、そして尺八の本曲までその多様な音色をご堪能いただけます。藤原道山は、都山流尺八楽会所属・竹琳軒大師範であり、東京藝術大学 副学長ほかを務めるほか、これまでに富田勲、坂本龍一、野村萬斎、ウィーンフィル・メンバーなど各界の頂点を極めているアーティストと共演。舞台音楽やテレビ番組のテーマ曲を手掛けたり、KOBUDO-古武道-(ピアノ、チェロ、尺八のトリオ)、尺八アンサンブル「風雅竹韻」など、ユニット活動も精力的に行っています。

ピアニストで作曲家の加羽沢美濃は、東京藝術大学大学院在学中に日本コロムビアよりCDデビュー。これまでに20枚を超えるCDをリリースしています。『題名のない音楽会』『ららら♪クラシック』等、テレビやラジオ番組の司会を務め、メディアにも多く登場。同じく映画やテレビ、舞台の音楽制作にも携わっています。

今回は、藤原道山作曲の「東風」「おかえり」、加羽沢美濃が書き下ろした「春、風へ」のほか、チック・コリア「スペイン」ほかをお聴きいただけます。尺八という楽器が持つイメージがガラリと変わる体験を、いずみホールでお楽しみください。

藤原道山 尺八コンサート Guest 加羽沢美濃

10月4日(日) 開場 14:30
開演 15:00

全席指定 一般 4,500円 好評発売中

※未就学児の入場はご遠慮ください。

こちらから参考音源の視聴ができます▶



チケット予約

国分寺市立いずみホール TEL.042-323-1491

オンラインチケットサービス <https://ticket.kxdfs.co.jp/kokubunji-izumihall-s/showList>

※車いす席はいずみホールのみでお取扱いたします。ご希望の方はお問合せください。※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。



第9回国分寺みらい音楽コンクール関連企画

今年の審査員はパデレフスキ国際コンクールほか数々の受賞、現在 南アフリカのネルソン・マンデラ大学で教授を務めるグロリア・カンパネル。世界各地のオーケストラとの共演や、著名演奏家とのコラボレーション、CD作成なども行っている輝かしい経歴を持ち主です。

2019年、グロリアが自身の経験を踏まえて、若手演奏家のためにワークショップ「C# - See Sharp」を立ち上げました。それは若い演奏家だけにとどまらず、人前で発表したり表現したりする人が、緊張や不安といった心理的プレッシャーを和らげるために、実践的な学びがあると好評です。

ヨガの基礎、自己認識、ストレッチ、マインドフルネスといった観点から、心理的なプレッシャーをやわらげ、克服する手法について、マスタークラスとして開催します。自らのパフォーマンスを本番で最大限に発揮するため、パフォーマンスのためのトレーニングとは別にこれらのトレーニングによるコントロールの方法を学べる機会を創出します。中学生以上の方が対象です。

グロリア・カンパネル THE SOUND OF EMOTIONS～ピアノ名曲集 については、休憩なし、トーク付きで開催します。ショパン：ワルツ第7番、ドビュッシー：月の光、喜びの島、レスピーギ：ノクターン、坂本龍一：メリー・クリスマス ミスターローレンスなど、耳馴染みのある名曲ばかりを取りそろえたコンサートは初心者にも聴きやすい公演です。



グロリア・カンパネル マスタークラス 緊張や不安を克服し、 本番で自分の力を発揮するために

【通訳】 ウララ・ササキ

12月11日(金) 開場 16:30
開演 17:00

参加者募集

- 定員 20名
- 参加費 2,000円(申込み時にお支払い)
- 対象 中学生以上、人前で表現するすべての方
(舞台芸術関係者に限らない)
- 持ち物 ヨガマットかバスタオルのような大判タオル
- 申込期間 9月19日(土)～11月8日(日)
- 申込方法 専用フォーム(右記QRコード)より
お申込みください



グロリア・カンパネル THE SOUND OF EMOTIONS～ピアノ名曲集

12月12日(土) 開場 13:30
開演 14:00

全席指定 一般 3,000円 一般発売 9月12日(土)
高校生以上 1,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

第9回 国分寺みらい音楽コンクール 本選

12月13日(日) 開場 13:45
開演 14:00

全自由席 500円 一般発売 11月3日(火・祝)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

福間洸太郎 ピアノ・リサイタル

国分寺市出身で、観光大使も務める福間洸太郎によるリサイタル。

今回のコンセプトはピアノの魔術師といわれる、フランツ・リストへのオマージュです。巡礼の年第2年「イタリア」全曲を含むプログラムです。

11月13日(金)

開場 13:30
開演 14:00

全席指定 一般 4,500円
高校生以下 2,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

好評発売中



©Shuga_Chiba

柳家喬太郎 独演会

10月23日(金)
開場 13:30 開演 14:00

予定枚数終了



国分寺市立いずみホール

指定管理者 株式会社ケイミックス パブリックビジネス
TEL.042-0024 東京都国分寺市泉町3-36-12
開館時間:9:00～22:00
休館日:第1、第3月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月29日～1月3日)

TEL.042-323-1491
FAX.042-327-3555
<https://www.kokubunji-izumihall.jp>

●JR中央線「西国分寺」駅南口より徒歩約2分



- 駐車場はAホールをご利用される主催者専用の駐車場となっております。一般の方のご利用はできませんのでご了承ください。
- 駐輪場はございません。周辺駐輪場をご利用ください。